

令和10年度の耳成西幼稚園の閉園計画を見直し、存続を求める要望書

要望趣旨

檀原市の公立幼稚園である耳成西幼稚園を令和10年までに『閉園』するという計画は、現段階では保護者・地域住民にまだまだ周知されておられません。

また、真菅北幼稚園と耳成西幼稚園を、真菅北幼稚園跡地に統合し、公私連携幼保連携認定こども園(民間に運営を任せ、市は土地や建物などの整備について無償・廉価な貸し付け、譲渡などといった設置の支援を行うと共に、締結した協定に基づいた運営がされているかを指導監督する制度)を開園し、それと同時に、耳成西幼稚園は新規園児の受け入れを停止し、翌年令和10年に閉園とする計画を知った、子育て世代を中心とした多くの地域住民は

- ・通園できる範囲に公立の幼稚園がなくなってしまうことで、公立と私立の選択ができなくなる不平等感。
- ・認定こども園行きの通園バスを利用するには耳成西幼稚園に一旦集合しなければならない不便さ。
- ・新興住宅の建設が園区で急速に増え地域の園の定員数がオーバーする可能性がある昨今の土地開発事情の中での公立幼稚園の閉園。
- ・檀原市を子育てしやすい町日本一にするという政策を掲げる中、公立幼稚園という教育施設を減らすという言動の不一致。
- ・近隣に幼稚園施設がなくなり、通園の不便さを感じることで、子育て世代にとって耳成西エリアの居住魅力が薄れ、若い世代が地域から減る可能性。

と言った非常に強い懸念と不安を抱えています。

現在、耳成西幼稚園園区を中心とした地域住民は、性急な耳成西幼稚園の閉園計画に、反対の意識を持ち、存続を希望する方が急増しています。

特に、将来、耳成西幼稚園に通わせるお子さんを持つ可能性がある方が家族・親族・身近な人の中でおられる方は通園の負担を考えると現実問題として真菅北幼稚園跡地に新しくできる民間経営の認定こども園か、既存の私立幼稚園しか選択の余地がなくなり公立幼稚園に通わせる選択肢がなくなってしまうことを、強く問題視しています。

この耳成西幼稚園の閉園計画は、一部の地域の保護者にとっては、自ら毎日の送迎可能な範囲での、公立幼稚園と私立幼稚園の選択肢がなくなることに関わり教育機会の平等原則に沿うものではないとも私たちは感じています。

地域住民が、計画に理解をしておらず、不安と懸念を強く抱え、耳成西幼稚園の存続と必要性を強く求める地域意見が多い現状の中、強硬的に閉園計画を進めている市長と教育委員会の姿勢は、市長が提唱する「子育てしやすいまち 日本一」を目指している言動とは相反しているように思えます。

耳成西幼稚園の閉園は、「民間の認定こども園だけで地域の幼稚園は需要を満たすことができる。耳成西幼稚園は不要という声が地域住民や未就園児の保護者たちの中で、高まってから、再度検討してもいいのではないのでしょうか？

私たちは、子どもや保護者・地域住民の意見が十分反映され、すべての子どもたちが、生き生きと学べる場を等しく保障されるよう、閉園計画の見直しを強く求めます。

要望項目

- 1) 民間経営の認定こども園の開園と同時期に、公立の耳成西幼稚園を閉園にする計画を見直してください。
- 2) 真菅北に民間経営の認定こども園が地域に受け入れられ、運営が安定し、園区の未就園児の保護者が安心して通園させることができるとの理解が深まるまでは、檀原市北西区エリアの未就園児を持つ保護者が、民間経営の認定こども園と公立の耳成西幼稚園を選択できる、試験的期間を、期限を決めずに設けてください。

私たちは上記のような声を檀原市政・教育委員会・檀原市議会に届けようとしています。

地域の大切な公立の教育施設と、子ども達の明るい未来を守るため、ぜひ幼稚園の存続に賛同のご署名ください!

呼びかけ団体

檀原市の公立幼稚園を考える親の会 / 耳成西幼稚園 PTA 本部役員 / 真菅北小学校 PTA 本部役員 / 真菅北幼稚園 PTA 本部役員

連絡先

耳成西幼稚園 PTA 本部 【担当者】: 耳成西幼稚園 PTA 本部役員 副会長
住所: 〒634-0803 奈良県檀原市上品寺町 4 8 2 - 1 (耳成西幼稚園内 PTA)